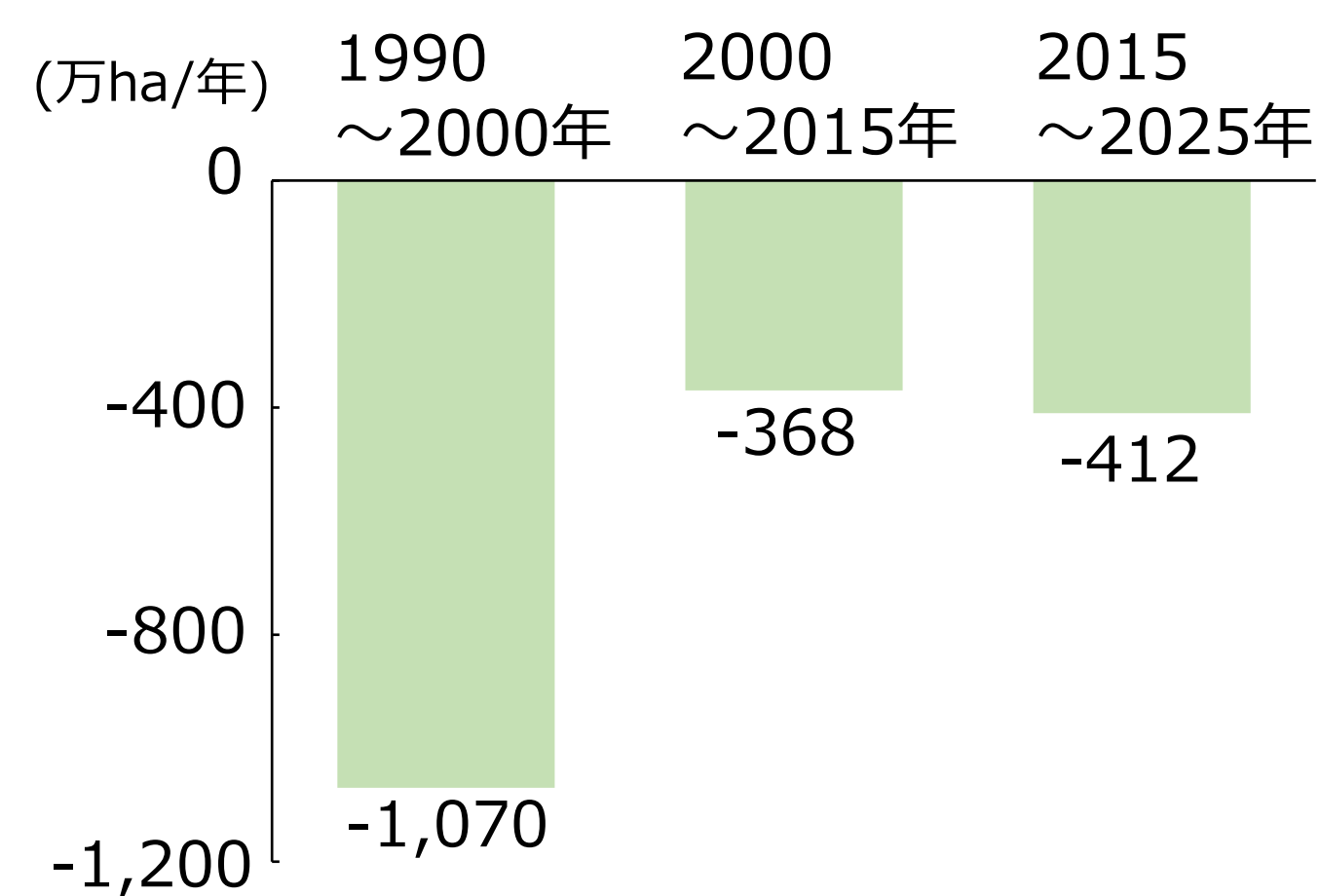


みどりあふれる森の国・日本

①日本は森林大国

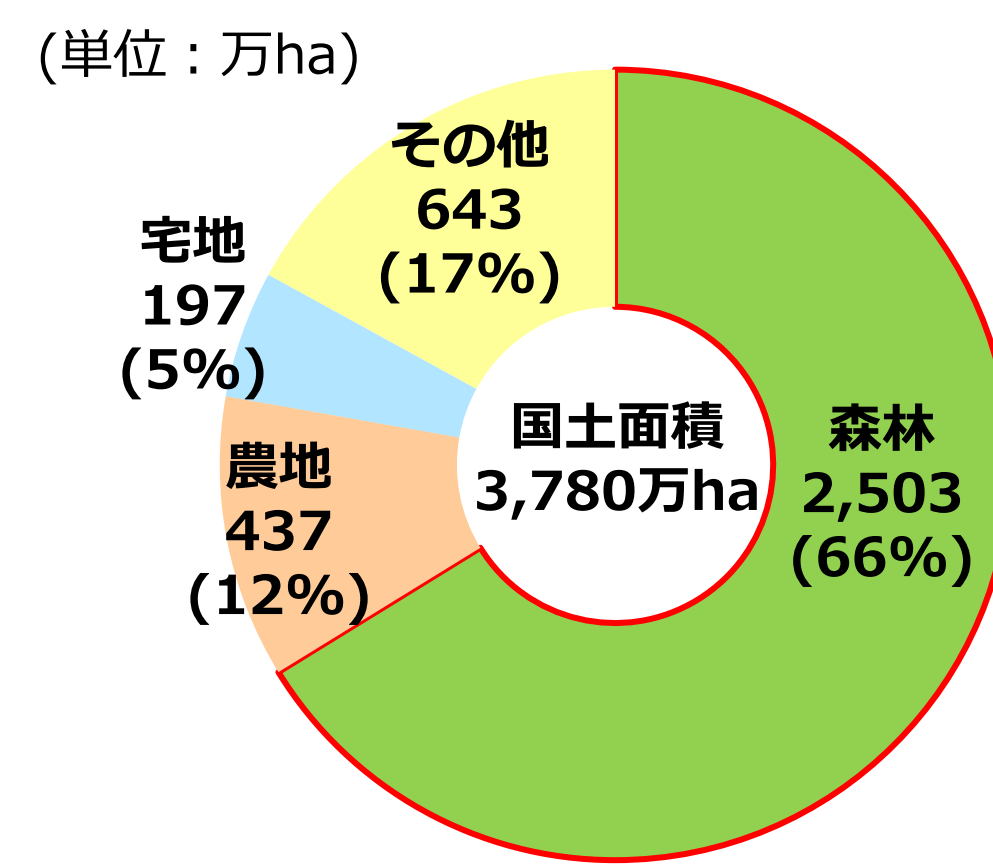
- ・日本は世界でも有数の森林大国であり、国土の約3分の2が森林です。
- ・世界各地で森林減少が続くなか、日本は長年にわたり森林を維持してきました。



世界の森林面積の変化量

資料：FAO「世界森林資源評価2025」のデータに基づいて作成。

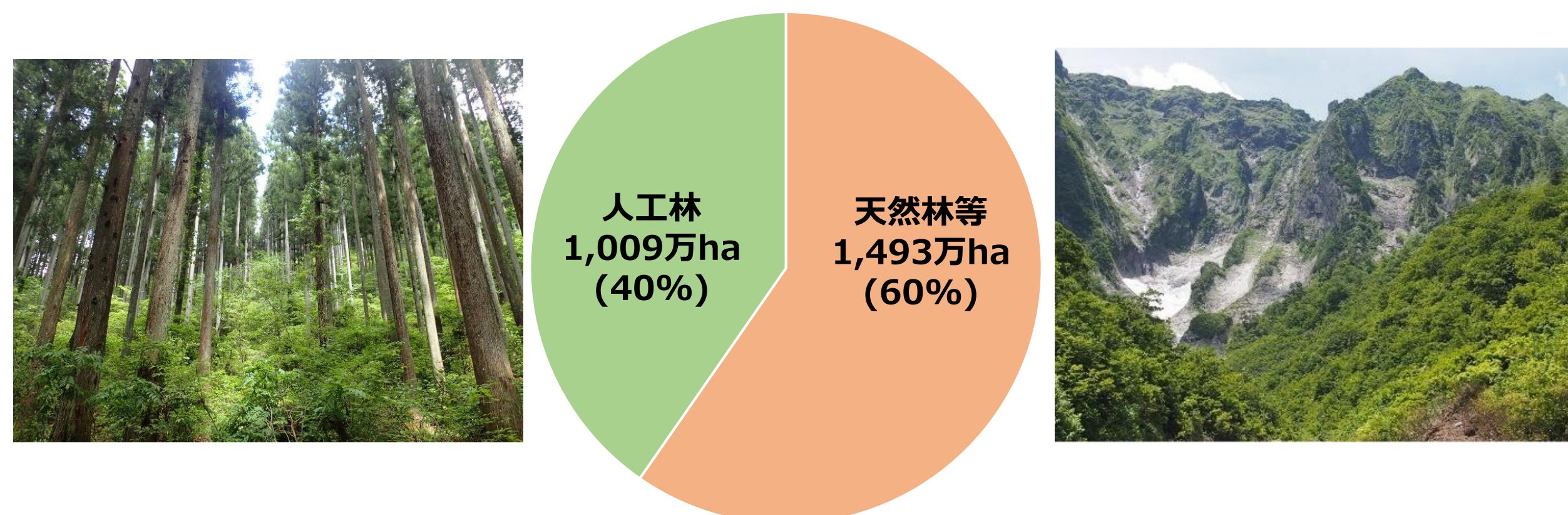
注：変化量は、森林増加面積から森林減少面積を差し引いたもの。



国土面積と森林面積の内訳

資料：国土交通省「令和7年版土地白書」
注1：計の不一致は四捨五入による。
2：林野庁「森林資源の現況」とは森林面積の調査手法及び時点が異なる。
3：国土面積は令和2年の数値。

- ・日本の森林のうち60%が天然林、40%が木材生産などを目的に植林・育成された人工林です。

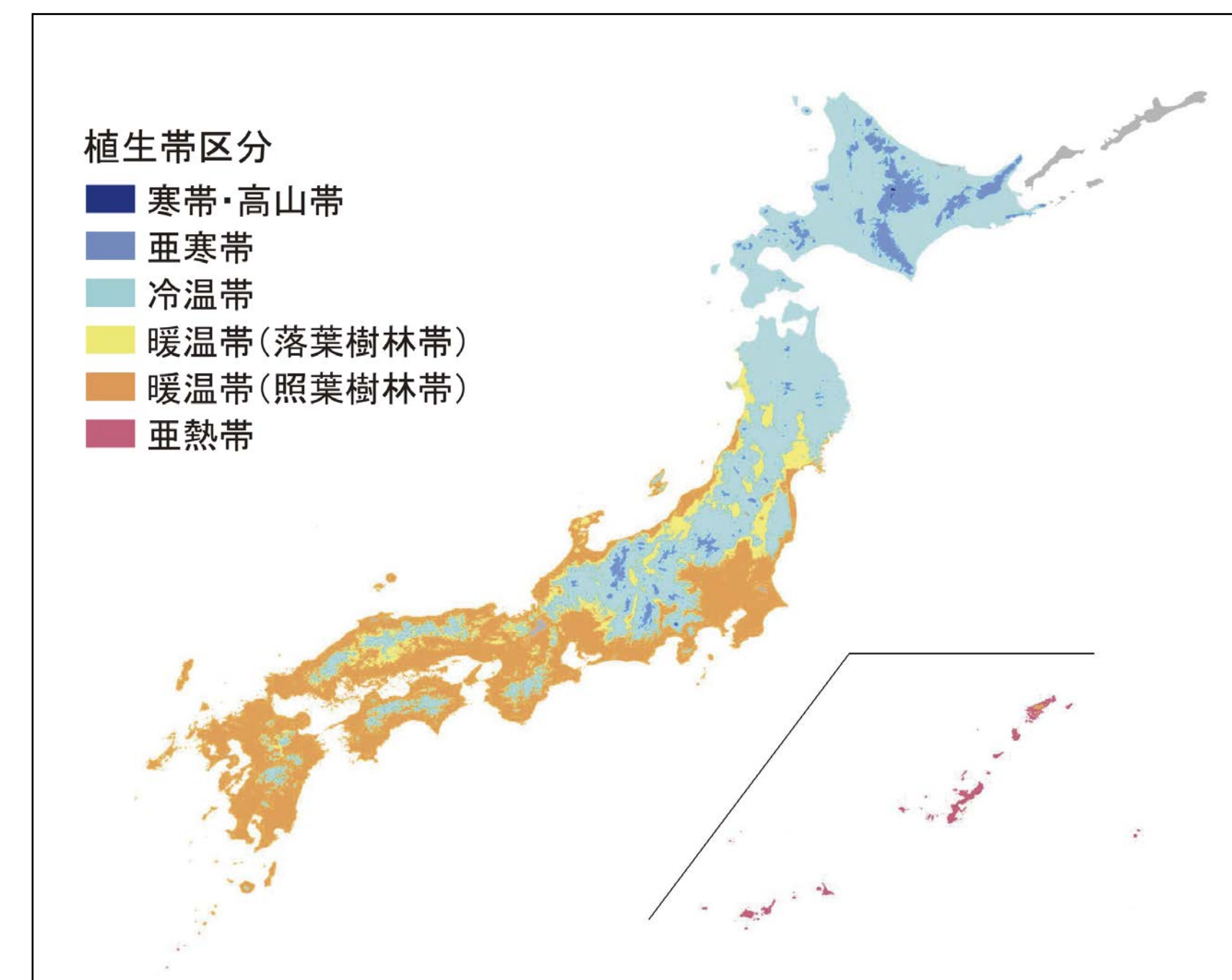


人工林と天然林等の割合

資料：林野庁「森林資源の現況」（令和4年3月31日現在）
注：計の不一致は四捨五入による。

②日本の多様な森林・多様な生物相

- ・日本には、南北に長く標高差がある国土の特性や、人々の生活・生業との関わりなどに応じて、多様な森林が形成され、生物の生育・生息環境を創出しています。



日本の植生帯区分

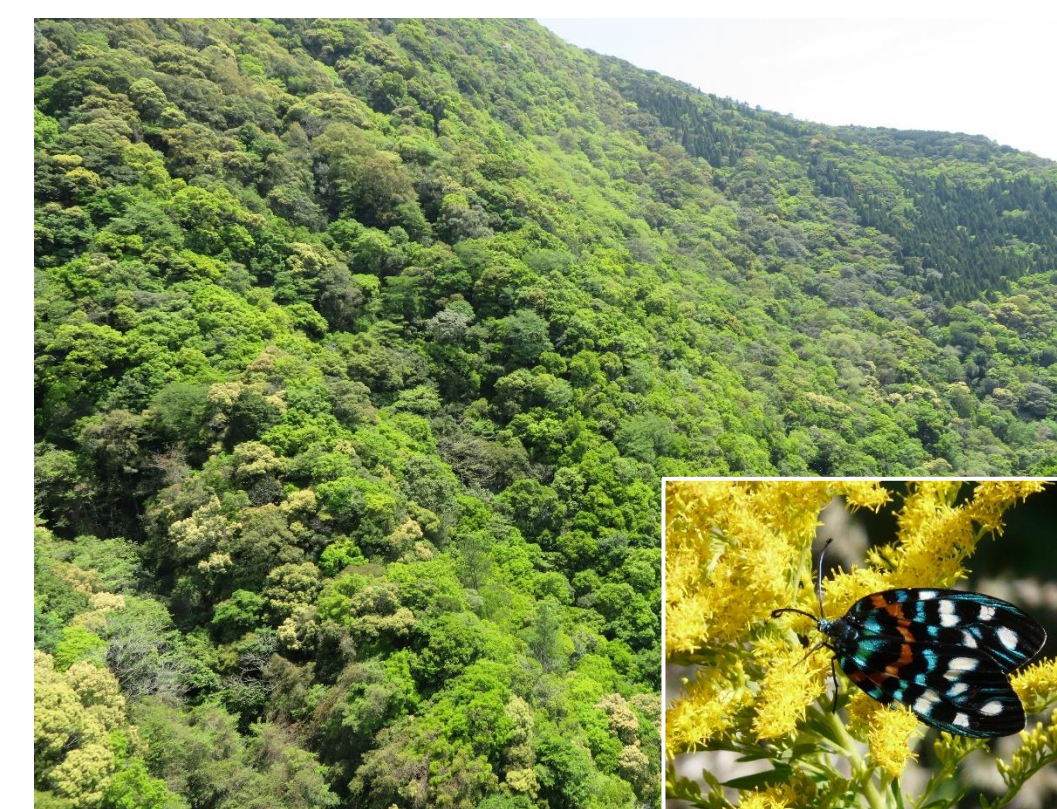
資料：国土交通省「国土数値情報（平年値メッシュデータ）」より
吉良（1945）の温量指数を用いて林野庁計画課作成。



トムラウシ(北海道)
/エゾクロテン



白神山地(青森県、秋田県)
/クマゲラ



綾(宮崎県)
/サツマニシキ



七里御浜(三重県)
/ソウブキ



武尊山(群馬県)
/アズマシャクナゲ

私たちの暮らしを支える、森林の機能

- ・ 森林は「生き物の生育・生息地となる」「二酸化炭素を吸収する」「水を貯え、きれいな水を供給する」「美しい景観を形成する」などの**多面的な機能**があります。
- ・ 森林は、**多面的機能の発揮を通じて**、国民に様々な恩恵をもたらし、**社会・経済を支えています**。

森林の持つ多面的機能の種類

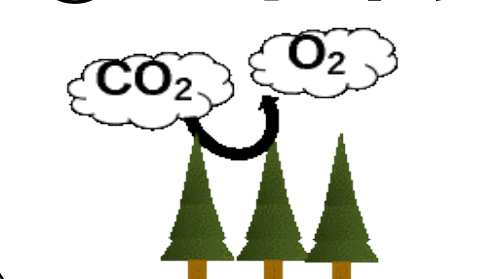
① 生物多様性保全

- 
- ・ 遺伝子、生物種、生態系保全

⑤ 快適環境形成

- 
- ・ 気候緩和
 - ・ 大気浄化

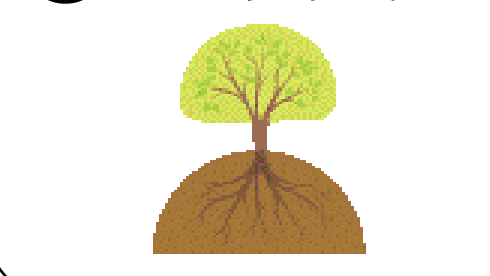
② 地球環境保全

- 
- ・ 温暖化対策
 - ・ CO₂吸収

⑥ 保健・レクリエーション

- 
- ・ 療養、保養
 - ・ 行楽、スポーツ

③ 土砂災害防止／土壌保全

- 
- ・ 土砂流出防止
 - ・ 防風・防雪等

⑦ 文化機能

- 
- ・ 景観、風致
 - ・ 学習、伝統

④ 水源かん養

- 
- ・ 水資源貯留
 - ・ 水質浄化

⑧ 木材等生産

- 
- ・ 木材、工業原料
 - ・ 食料

森林の多面的機能の一例

生物多様性保全機能

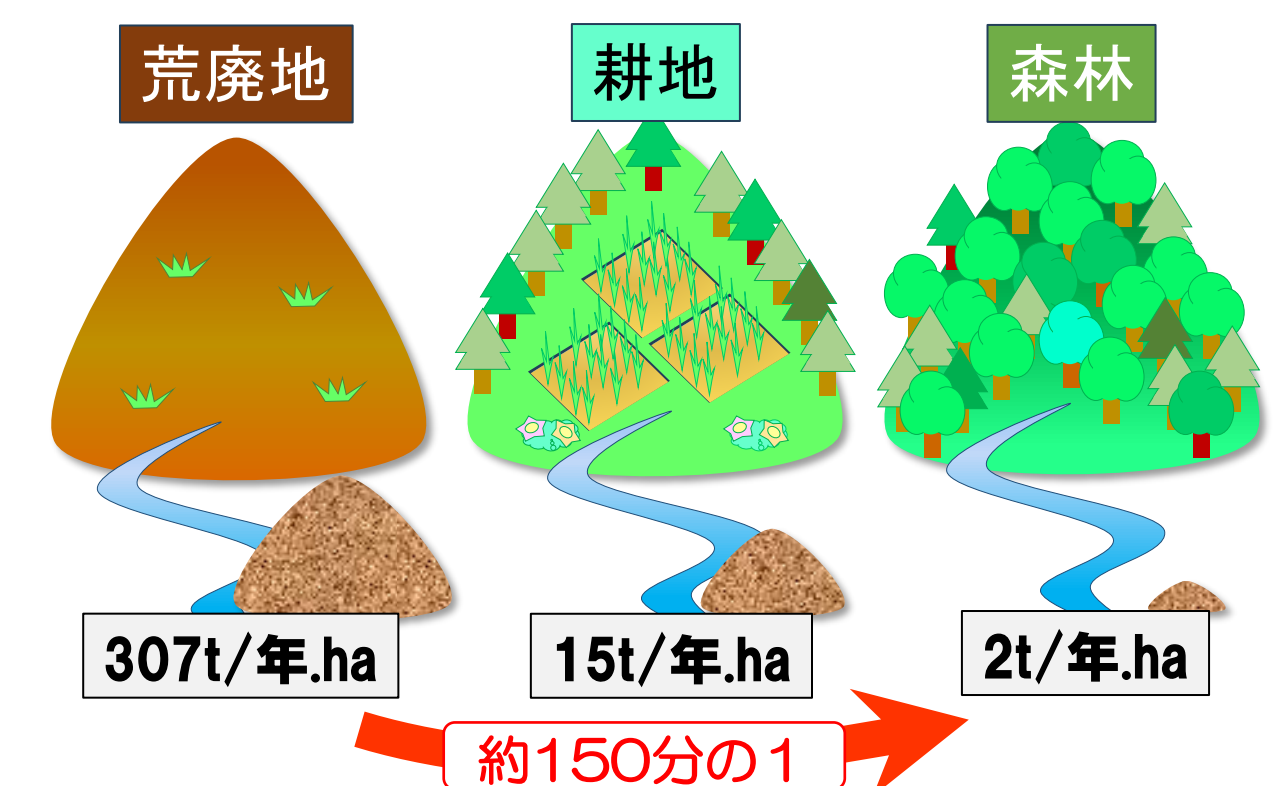
- ・ 保安林の中には、魚類の生息を助ける役割を持つ「魚つき保安林」があります。
- ・ 森林には、海や川へ栄養を供給する力や、水質汚濁を防ぐ力などがあることが科学的にも解明されており、漁業者らによって植樹活動が進められている地域もあります。



河川上流での植樹活動
(NPO法人 森は海の恋人)

土砂災害防止／土壌保全機能

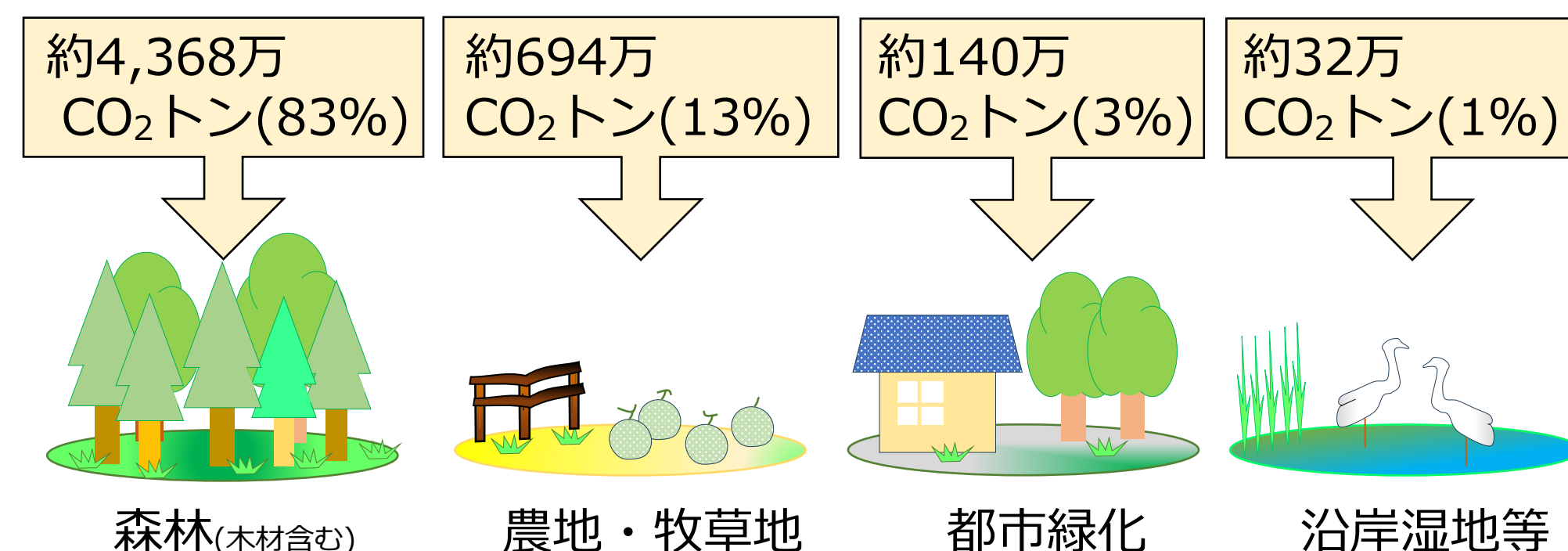
- ・ 森林では、植物の生育や根の伸長、土壌の発達により、表面侵食や表層崩壊が抑えられています。
- ・ 右図は森林の状態による流出土砂量の比較事例です。健全な森林からの流出量は荒廃地の150分の1程度です。



資料：丸山岩三「森林水文」実践林業大学1970を基に作成。

地球環境保全機能

- ・ 森林は大気からCO₂を吸収し、炭素を長期貯蔵します。
- ・ 日本国内における森林や農地・緑地等のCO₂吸収量は右図のとおり。国内の総吸収量約5,234万CO₂トンのうち、8割以上を森林が占めています。



資料：国立研究開発法人国立環境研究所「2024年度の我が国の温室効果ガス排出量及び吸収量について」に基づいて作成。

保健・レクリエーション機能

- ・ 森林には癒し効果があることが知られており、森林を活用したwell-beingの取組が各地で行われています。



森林で行うカブトレイル

林業を通じた森林管理による生物多様性保全

- ・ **ネイチャーポジティブの実現**に向け、「天然林等の保全管理」や「生物多様性の保全を図る森林経営」を推進しています。
- ・ 人工林の適切な管理や、里山林の継続的な利活用は、**生物多様性の増進に貢献**します。

① 森林管理を通じた生物多様性保全

【森林・林業の方針】

- ・ 政府は、森林・林業施策の基本的な方針等を定める新たな「森林・林業基本計画」を令和8年6月に閣議決定しました。
- ・ 「ネイチャーポジティブ」の実現を目指し
 - ◎ 原生的な天然林等の保全管理
 - ◎ 生物多様性の保全を図る森林経営を推進することが示されています。



皆伐時に天然木を保残

【面的な管理】

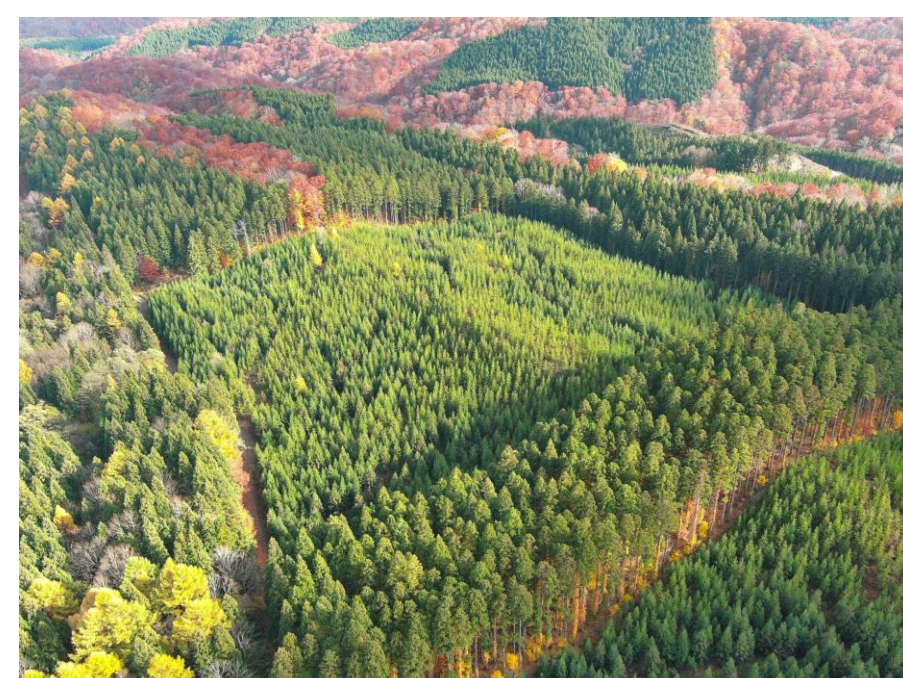
- ・ 様々な動植物の生息・生育の場を確保するためには、一定の面的広がりにおいて、様々な樹種、林分構造、林齢などから構成される森林をバランスよく配置することが重要です。
- ・ 生態系の連結性を高めるには、人工林周辺の天然林、溪流沿いや尾根筋の森林を切らずに残すなど、有機的につなぐことが有効です。



様々な森林タイプが配置された景観のイメージ
資料：北海道大学大学院農学研究院 2016

【面的な管理に関する制度】

- ・ 森林計画制度では、木材生産を行う森林と公益的機能の維持・増進を図る森林をゾーニングしています。
- ・ 国有林野においては、保護林やそれを連結する緑の回廊の設定・管理を通じて、広範な森林生態系の維持を図っています。



② 人工林の適正な管理

- ・ 人工林は、木材を生産するだけでなく、多くの動植物の生育・生息の場となっています。
- ・ 人工林の適切な管理は、生態系の連結性を高め、生物多様性の増進に貢献します。
- ・ 例えば、適正な間伐は、林内を明るくし、下層植生を発達させます。



間伐後に発達した下層植生



針広混交林



林内での作業

③ 里山林の適正な管理

- ・ 里山林は、地域住民により活用されてきた森林です。明るい場所を好む昆虫や草花などが生育する、独特の生態系が形成されてきました。



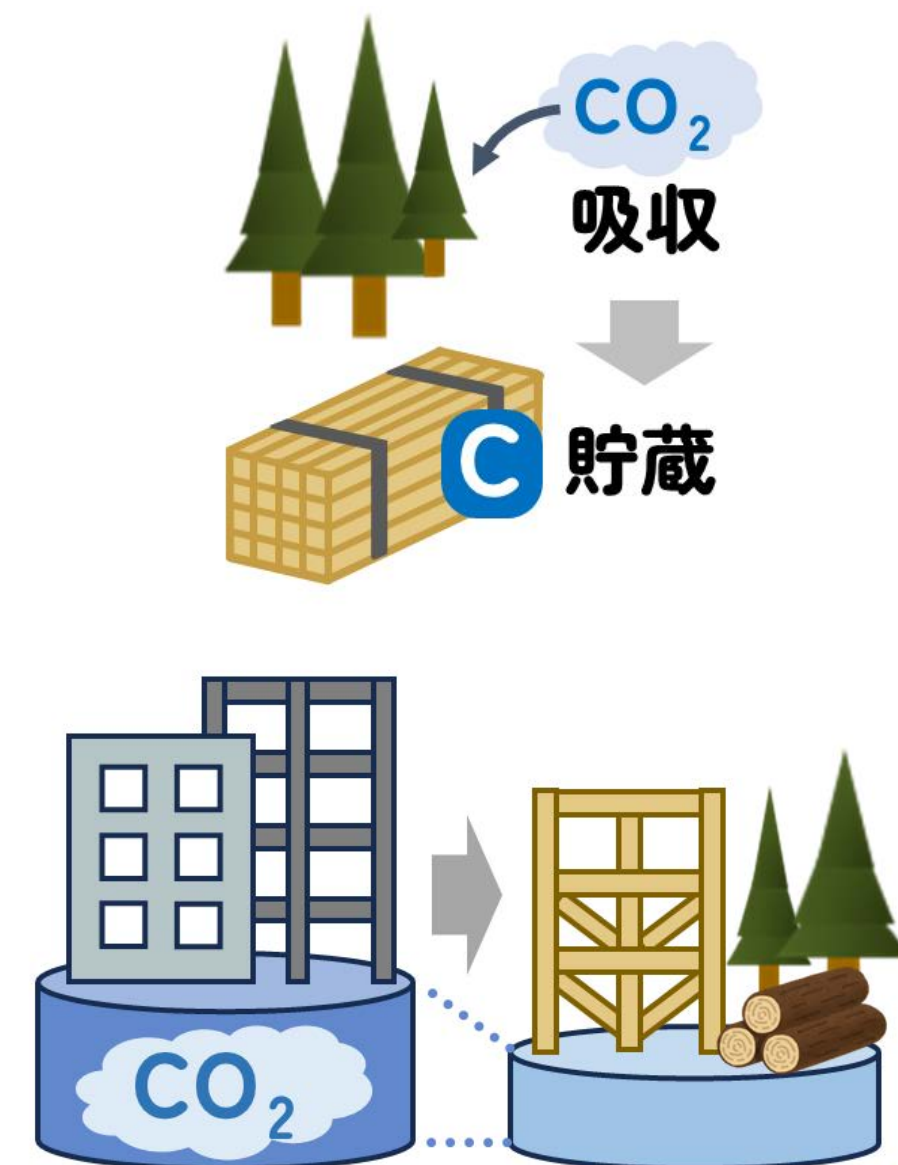
- ・ 近年は里山林の活用が減ったため、林内は薄暗くなり、生態系は失われつつあります。里山林の継続的な活用が重要です。

建物に木を使うと、いいことたくさん。

- ・炭素を貯蔵し、建築時のCO₂の排出量が少ないため、**カーボンニュートラルに貢献**します。
- ・樹木として再生可能な天然素材で、再利用も容易なため、**循環経済に貢献**します。
- ・建物を使う人に**快適な空間を提供**できます。
- ・**生物多様性を高める**林業経営を含め、**持続可能な森林経営を行う森林所有者等を応援**できます。

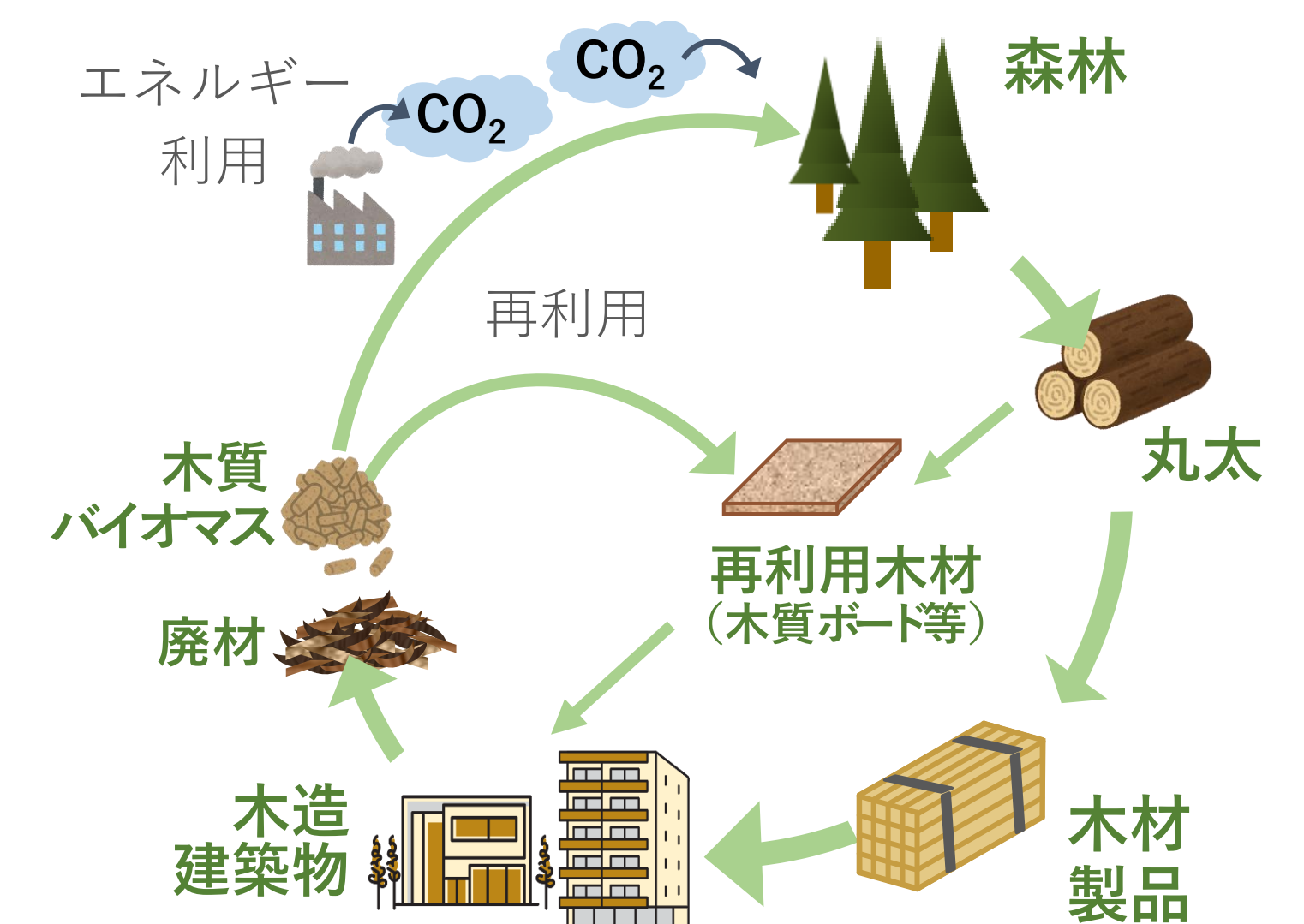
①カーボンニュートラルへの貢献

- ・木材を建築物に使うことで、長期間にわたり炭素を貯蔵できます。
- ・木材は、製造時のCO₂排出量が鉄やコンクリート等よりも少ない素材です。
- ・木材を使えば、建築物のライフサイクル全体のうち、資材製造段階などの炭素排出量（エンボディドカーボン）を削減できます。



②サーキュラーエコノミーへの貢献

- ・木材は、再生可能な天然素材で、建築物を解体した後も建材等への再利用やエネルギー利用ができるため、サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に貢献します。



③快適空間の実現～Well-Being～

- ・木材を家の内装にも活用（内装木質化）することで、利用者の心身面、生産性などに良好な効果をもたらします。



良い眠りを引き出す効果



作業性・業務効率を高める効果



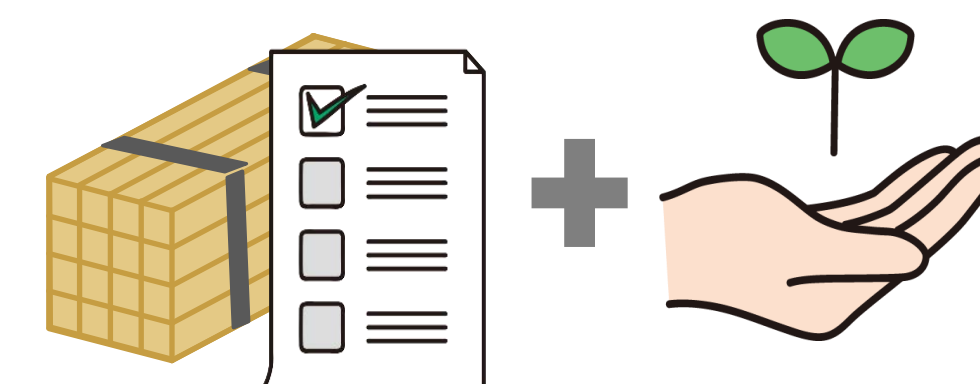
リラックス・癒し効果

④持続可能な森林経営への貢献

- ・持続可能な方法で生産された木材を選ぶことで、持続的な森林経営に取り組む森林所有者等を応援できます。

持続可能性に配慮した木材利用の例

- ・更新の担保（合法木材、かつ伐採後に森林の更新が確実に行われること）を確認
- ・再造林等ができる価格で木材を購入
- ・生物多様性を高めるための取組を行っている森林から生産された木材を積極的に利用



詳しくは『建築物への木材利用に係る評価ガイダンス』『持続可能性に配慮した木材供給・利用に係るガイダンス』をご参照ください。